

してずいぶん優しく接することがで
きる自分を発見し、驚いた……との
ことである。

私は、自分の子ども(四歳と一歳)
を夫の母親に日中養育してもらつて
仕事に出ているが、この記事を読ん
で考えさせられたことが多かつた。

昨今は、夫婦共働きの家庭が多い
が、家庭での子どもの教育について
もっと真剣に考えなければならな
い、と私自身強く反省させられた。

日頃父親も母親も家にいない家庭で
育つ子どもたちは、どういう子ども
に成長していくのだろうか。

仕事をするからには責任を果た
し、やるべきことは中途半端で終わ
らせたくないの、またまた考えさ
せられるのである。

私は教職経験が浅く、未熟な点も
多いと思っているが、ある意味では
教員になつてもう十年も経つのだか
ら、それなりの仕事をしなければ恥
ずかしいとも思う。しかし、まだま
だ中身も仕事も思うようにはできて
いない。学校でも家庭でも、時間に
追いやられて十年になろうとして
いるが(二人の子どもを出産・育児
のため、二年半は休暇)今までに、
出産・育児のために仕事を休まなか
ればならない事態になる度に、仕事
と家庭の両立や育児について考
えられた。

女性の場合、真剣に仕事に専念で
きるのは、子どもが大きくなつてか
らであろうか。しかし、若いがゆえ
に吸収できることも多いはずだ。も
っと多くのことを吸収し、自分を高
めるという気持ちはいつまでも持
続けていきたい。

子どもについては、やさしさ、誠
実さ、責任感、強い意志を持った人

間に成長していくと感じて
いる。日頃一緒にいてやれないのに、
期待することは大きいのである。今
後の子育てに多くの不安と期待を抱
くことも多いが、今日の一日を大切
にして教育に専念することはもとよ
り、家庭教育にも目を向けて前進し
ていきたいと思う。

(白沢村立白沢中学校教諭)

自安我楽

猪狩和雄

ナーハハーモーホホホーホーイ

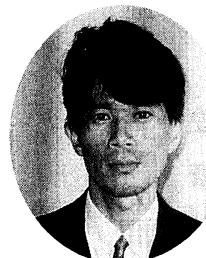
モホホホーホイメー工エー

オセーオセ

盆では米の飯 おつけでば茄子汁

十六ささげのよごしはどうだ

オセーオセ



友人の紹介で御厩地区じゃんがら保
存会に入会することができた。

早速、練習に入つたが、私が覚え

なければならぬのは先程紹介した
唄と鉦、そして踊である。先輩の後
について、目と耳と体全体で覚える
なければならない。初めてのことを体

御厩地区のじゃんがらはテンポが
速く、サンバのリズムに近い。太鼓
と鉦が調和し高潮したときには、踊

る者も観る者も無我の境地に入る。
一曲終ると汗びっしょり。これを

一日に三十軒から四十軒の家でくり
返すことになるが、どこの家でも心
から喜んでくれ、仲間と一緒に何と
もいえない充実感に満ることができ
る。じゃんがらは、まさに読んで字
の如く、自安我楽である。

次の目標は、太鼓をたたきながら
舞うこと。地域に溶けこんで、仲間
と共に頑張りたい。

独特の節回しで始まるのは、いわ
き地方に古くから伝わる郷土芸能、

じゃんがら念仏踊である。安土桃山
時代に磐城国出身の僧袋上人が
創始し、江戸時代に名僧祐天上人が
広めたと伝えられている。

この伝統ある念仏踊を一度はやつ
てみたいと思っていたが、三年前に
覚えるしかない。何度もくり返し、

何度も間違える。会長からビデオを
借り、自宅に帰つてからも茶わんと
箸で練習。毎日毎日の練習で、鉦を
持つ手、ぱちを持つ手にまめができる
。さすがに伝統芸能、そう簡単に
は近づけてはくれない。これでもか、
それでもかと試練を与えてくれる。

こうして、仲間との練習、家の練習
が一ヵ月あまり続く。何とかも
のになってきたときには、両手のま
めはたこに変わっていた。

八月十三日、十四日は新盆の家々
を回る。夏らしい伝承衣装、独特な
踊に太鼓と鉦のひびき。地区によつ
てリズムや動作が多少違うが、それ
ぞれの地区の伝承をかたくなに守つ
ている。

御厩地区のじゃんがらはテンポが
速く、サンバのリズムに近い。太鼓
と鉦が調和し高潮したときには、踊
る者も観る者も無我の境地に入る。
一曲終ると汗びっしょり。これを

一日に三十軒から四十軒の家でくり
返すことになるが、どこの家でも心
から喜んでくれ、仲間と一緒に何と
もいえない充実感に満ることができ
る。じゃんがらは、まさに読んで字
の如く、自安我楽である。

次の目標は、太鼓をたたきながら
舞うこと。地域に溶けこんで、仲間
と共に頑張りたい。

いわきの夏の風物詩「じゃんがら